

3月20日

立憲主義が憲法の平和主義と
立憲主義を破壊し強行したが保
法制=戦争法が施行されてから6
年で6年が経過しました。中国が
軍事的圧力を強める下、自衛有事
を想定した米軍と自衛隊の共同作
戦計画の策定や共同訓練の実施な
ど、日米軍事一体化の動きが急速
に進み、安保法制の危険性があ
ります限りのところです。

南西諸島が攻撃の対象に

今年一月、日米の外交・軍事相
当閣僚による安全保障協議会
(セイフコム)が開かれました。
会合後に示された共同発表文書
上の課題に「(日米が)かつてな
く統合された形で対応するため、
戦略を完全に整合させ」、「(中国

主張

安保法制施行6年

の)地域における安定を損なう行
動を抑止し、必要であれば対処す
るために協力する」と、共同で対
処する」とを強調しました。

同時に、会合では「同盟の役割
・任務・能力の進化および緊急事
態に関する共同計画作業について
の確固とした進展を歓迎した」と
記載されています。

日本を戦場にする策動許すな

進基地作戦」(EA
を確保する「遠征前
指揮も上がっています。

し、日米共同作戦計画の策定が進
んでいたことがわかった。
自衛有事を想定した日米共同作
戦計画については、共同演習が昨
年末、米軍と自衛隊が原案を策定
したと報じられており、(在韓タイ
ムス同年12月24日付など)。
それと並んで、原案の内容は、

台湾有事の際に度が高まつた初動
段階で、米海兵隊が南西諸島に臨
む場合でも、その他の母艦を

燃料補給など後方支援を担い、米
軍が敵艦であるもの母艦を

敵基地攻撃能力の使用も
排除する一念なりとなつてこます。

台湾有事では国民党内などか
で、陸上自衛隊がミサイル部隊を
配備していく鹿児島県の奄美大
島、沖縄県の宮古島や配備予定の
島が想定され、軍事施設を闇に

と指摘しています。

共同作戦計画の原案は、米海兵
隊が島嶼を奪取する際に小規模な部隊を派遣
し、分隊戦闘せしめ攻撃

燃料補給など後方支援を担い、米
軍が敵艦であるもの母艦を

敵基地攻撃能力の使用も
排除する一念なりとなつてこます。

台湾有事では国民党内などか
で、陸上自衛隊がミサイル部隊を
配備していく鹿児島県の奄美大
島、沖縄県の宮古島や配備予定の
島が想定され、軍事施設を闇に

と指摘しています。

共同作戦計画の原案は、米海兵
隊が島嶼を奪取する際に小規模な部隊を派遣
し、分隊戦闘せしめ攻撃

燃料補給など後方支援を担い、米
軍が敵艦であるもの母艦を

敵基地攻撃能力の使用も
排除する一念なりとなつてこます。

台湾有事では国民党内などか
で、陸上自衛隊がミサイル部隊を
配備していく鹿児島県の奄美大
島、沖縄県の宮古島や配備予定の
島が想定され、軍事施設を闇に